

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	消防職員研修事業			会計	款	項	目	大	小
				01	09	01	01	04	01
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	消防総務課				
施策	2-3	自然災害・都市災害への備えと予防		主管課長	須藤 恭成				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	消防職員	意図	各種研修会に派遣することにより、消防職員としての知識・技術の向上を図る。
事業内容	消防職員を消防大学、千葉県消防学校及び各種研修へ派遣する。			
事業開始から現在までの状況変化	消防吏員の任命に当たり初任教育を受けることが義務であり、これ以降各種業務遂行において必要な知識及び技術習得のため、千葉県消防学校入校を始めとする各種研修に派遣するに至ったものである。職員の新規採用は勿論のこと、各種業務における専門的な知識・技術は年々進化していることから、これらに対応すべく研修の必要性は変るものではない。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	県消防学校派遣者数	18	16	17		↑↑↑	
②	消防大学校派遣者数	1	1	1		→→→		
③	その他研修派遣者数	41	211	47		→→→		
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 各種研修に派遣後、本部内にて研修内容のフィードバック研修を実施している。		
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		9,403,279	8,169,953	8,312,390				
事業費(b)(円)		4,597,779	3,471,553	3,697,990				
うち一般財源		4,597,779	3,471,553	3,697,990				
職員給与費(c)(円)		4,805,500	4,698,400	4,614,400				
人役・職員(人)		0.70	0.70	0.70				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	研修に派遣することで職員の資質向上が図られるが、より一層の充実が求められる。	③取組における課題(Check)	専門的な知識をさらに深め、社会情勢に即応した職員を育成するために、研修科目は広い分野から取り入れる。
②H30に実施した取組(Do)	消防学校、消防大学校等の専門的研修に派遣するほか、消防職員の惨事ストレス研修にも派遣した。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	消防職員として必要な知識・技術を習得させるため消防学校に派遣するものであり、削減は困難である。